

# 厚木市の都市計画基礎調査の概況

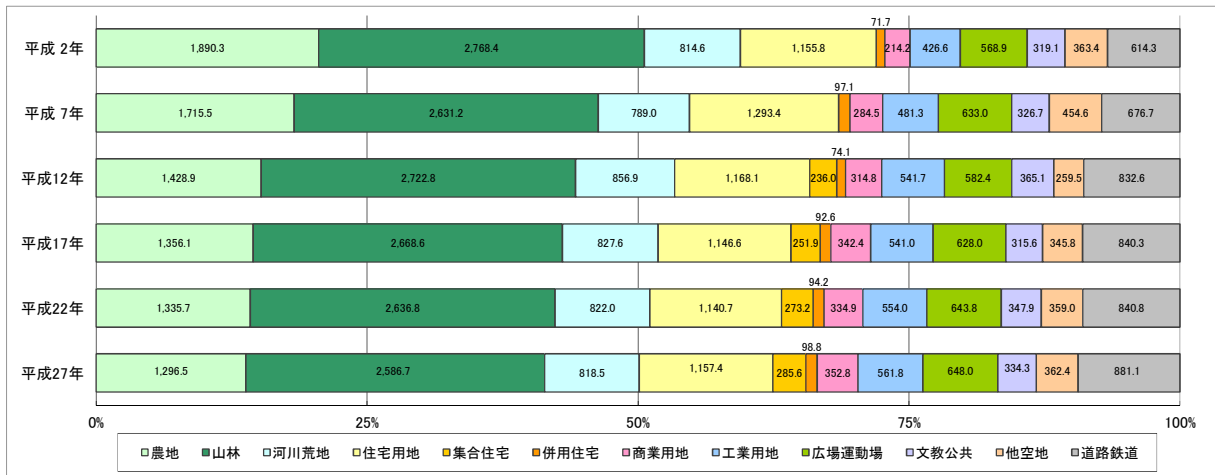
## 1. 土地利用の状況

都市計画基礎調査（平成 27 年度調査）における本市の土地利用の状況をみると、都市的土地利用の面積は、4,682ha で市域の約 50%を占めており、5年間で93haの増加がみられる。一方、自然的土地利用の面積は、4,702ha で約 50%を占めている。

また、都市的土地利用のなかでは、住宅及び集合住宅、併用住宅からなる住宅系用地の占める面積が最も多く、1,542ha（16%）を占め、次いで、道路・鉄道用地 881ha（9%）、ゴルフ場や公園等の広場・運動場等用地が 648ha（7%）、工業系用地 562ha（6%）となっている。

平成 22 年～27 年の推移については、住宅系用地が 34ha 増加し、次いで商業用地が 18ha 増加、工業用地は 8ha 増加にあり、その他空地（屋外駐車場・改変中の土地等）については 3ha の増加がみられる。

●【市全域：都市計画区域】土地利用分類別面積の割合と推移 ※平成2年及び7年の集合住宅は、住宅用地に含む。(ha)



●【参考：市街化区域】土地利用分類別面積の割合と推移 ※平成2年及び7年の集合住宅は、住宅用地に含む。(ha)

